

2020年度 共同研究班 研究報告書（企画研究の現状（研究会開催状況、企画遂行がどこまで出来たか、得られた知見など）

今年度、コロナウイルスの蔓延で現地調査はほぼ不可能になってしまった。が、変えて、資料調査や書籍の収集など行われた。そして、理論的な理解や勉強もできた。

風土的比較

沖縄県と西双版纳の風土と歴史は相違性がそうとうにあるが、でも共通的なところは結構ある。

歴史的共通点

琉球王国時代とシーサンパンナの景竜金殿国というような存在は、その発生、形づくりなど、ほぼ同じ時期で、シップソーンパンナー（西双版纳）の建国は、1180年にパヤー・スンカムンがムアン・チェンフン（景洪）で王を称したこと始まる。13世紀にはモンゴル帝国の侵攻があり、元朝へ帰順し、さらに明朝が興ると1382年には明に服属している。

生態的な影響か？

そのため、風土などの影響の上、小乗仏教の伝来によって、如何に、民俗的や宗教的な意味を変容か受容されたか、について継続的に調べた。